

令和 4 年 4 月 12 日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
B グループ研究B
校園コード（代表者校園の市費コード）
541091

代表者 校園名： 大阪市立四貫島小学校
 校園長名： 森石 泰生
 電 話： 06-6468-5451
 事務職員名： 立石 教子
 申請者 校園名： 大阪市立桃陽小学校
 職名・名前： 教諭 山本 秀人
 電 話： 06-6772-2925

令和4年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	B グループ研究B	研究年数	新規研究（1年目）
2	研究テーマ	配慮を要する児童のよりよい「今」そして「未来」を目指して			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。</p> <p>大阪市教育振興基本計画に基づき、全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざす。あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざすことを研究目的として、実践研究を行う。</p> <p>○障がいのある者も障がいのない者も、互いを認め合い協働できる共生社会をめざすために、障がいのある児童の自立と社会参加を見据えて、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援が提供できるよう、通常学級、特別支援学級、通級による指導での学びを充実させる。</p> <p>○学びの充実に向けては、教員の発達障がいを含む障がいに対する理解や、特別支援教育の専門性を高めるための研修を実施し、校園内における支援体制の充実と強化を行う。</p> <p>○障がいの状態や特性に応じ、ＩＣＴを活用した学習を推進する。</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。</p> <p>1. インクルーシブ教育を意識した授業づくりに関する研究</p> <p>インクルーシブ教育を意識した、担任と特別支援教育担当教員の授業づくりを行う。</p> <p>これまでの実践では、インクルーシブ教育を意識し、児童全員が一体となれる授業を展開するために通常学級担任と特別支援教育担当がともにデザインする授業研究に取り組んだ。その実践を踏まえ、実態把握に努めながら、特別支援学級での授業づくりと、通常学級で特別支援学級に在籍する児童と通常学級の児童が共に学び合う授業づくりを追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常学級担任と特別支援学級担任の情報交流の持ち方 児童の授業の参加の仕方、入り込み支援での情報共有の仕方 個々の児童の実態に応じた教科学習の進め方 授業のユニバーサルデザイン化 合理的配慮に基づく個別の目標の設定 人と関わる力を伸ばし、社会参加する力を養う指導について <p>2. 学校生活全般の配慮を要する児童への支援についての研究</p> <p>これまでの実践では、コロナ禍において配慮を要する児童に対する学校生活での支援に関わって出てきた新たな課題等について内容を把握・整理し、今後の効果的な支援方法を探求した。その実践を踏まえ、障がいのある児童にとって望ましい自立と社会参加を目指す視点から、全ての児童がより良い学校生活を送ることができる指導・支援について研究を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな学校生活の場面における課題と指導者による指導の工夫の実態把握 効果的な指導事例の情報発信 配慮を要する児童のコミュニケーションについて 通常学級の支援を要する児童の支援（合理的配慮）の在り方について 日々の学校生活の中での具体的なケースに応じた実践事例について <p>3. 教職員に向けた特別支援教育研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育研修会の実施 第59回近畿特別支援教育連絡協議会大阪市大会の開催（大阪市中学校教育研究会・大阪市小学校特別支援教育担任者会・大阪市特別支援教育研究協議会と連携） 第42回「障害のある子どもに学ぶ」図工展の開催（担任者会と共に） 			

研究コース

B グループ研究B

代表校校園コード

541091

代表校園

大阪市立四貫島小学校

校園長名

森石 泰生

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>【4月】○昨年度までの課題や先行研究を確認。○今後の研究内容について、部会内（授業部会・学校生活部会）で検討・計画する。</p> <p>【5月】○特別支援教育部全体会で、今年度の研究内容を研究委員全員に周知する。○第59回近特連大阪市大会準備。</p> <p>【6～7月】○授業部会：通常学級担任と特別支援学級担任が共にデザインする授業を進め、通常学級および特別支援学級での授業実践・公開・研究を行う。○学校生活部会：これまでの成果を踏まえ、児童や現場のニーズを把握し、児童が安心して学校生活を送るための資料作成について検討する。○第59回近特連大阪市大会準備</p> <p>【8月】○教育課程研修・學習指導基本研修で、前年度までの研究成果を発表し、参加者の資質向上を図る。○第59回近特連大阪市大会開催。</p> <p>【9～11月】○授業部会：実践・公開した授業を部内で検討し、各校で授業を実施する際の留意事項等をまとめる。○学校生活部会：資料を収集し全市に発信する内容を絞り込む。</p> <p>【12月】○特別支援教育部研修会を実施し、参加者の資質向上を図る。○特別支援教育部全体会で、第38回大阪市小学校教育研究会総合研究発表会に向けた原稿作成、発表準備を行う。</p> <p>【1月】第42回「障害のある子どもに学ぶ」図工展（担任者会と共催）を開催する。○総合研究発表会準備。</p> <p>【2月】第38回大阪市小学校教育研究会総合研究発表会2年次発表を開催する。全市に研究の成果を発表し、研究の成果物を配付する。</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 ○インクルーシブ教育を意識した授業研究及び事例研究を行い、考察分析し結果をまとめることにより、特別支援教育部研究委員の指導力の向上を図る。</p> <p>《検証方法》 ○研究授業及び事例研究の成果を研究紀要として冊子にまとめる。冊子は大阪市立小学校全校に配布し共有する。</p> <p>【見込まれる成果2】 ○第59回近畿特別支援教育連絡協議会大阪市大会を実施する。大阪市中学校教育研究会・大阪市小学校特別支援教育担任者会・大阪市特別支援教育研究協議会等と連携し、近畿4県2政令指定都市との合同研修会を行う。また、特別支援教育部主催による研修会を実施し、小学校特別支援教育担任者会との合同研修会とすることにより、多くの教員の研鑽の場とする。</p> <p>《検証方法》 研修会の参加者数をそれぞれ200名以上、30名以上とする。</p> <p>【見込まれる成果3】 ○授業研究及び事例研究の成果を第38回大阪市小学校教育研究会総合研究発表会2年次発表で発表することにより、大阪市立小学校に勤務する教員の、配慮を要する児童に対する指導力向上に寄与する。</p> <p>《検証方法》 研究発表会の参加者を、大阪市立小学校数の半数である144を上回るようにする。</p>

研究コース

B グループ研究B

代表校校園コード

541091

代表校園

大阪市立四貫島小学校

校園長名

森石 泰生

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果4】 ○授業研究及び事例研究の成果を第38回大阪市小学校教育研究会総合研究発表会2年次発表で発表することにより、大阪市立小学校教員の配慮を要する児童に対する指導力向上に寄与する。</p> <p>『検証方法』 参加者にアンケートをとり、指導力向上に関する項目において、肯定的な回答を80%以上とする。</p> <p>【見込まれる成果5】 ○第42回「障害のある子どもに学ぶ」国工展を大阪市小学校特別支援教育担任者会と共に開催する。配慮を要する児童に関わる大人を対象とした、児童の作品を発達の観点から捉え、子ども理解を深める研修の場とする。</p> <p>『検証方法』 開催期間中の参加者数が延べ500名を上回るようにする。</p>				
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和5年2月24日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="414 979 1029 1051"><tr><td>日程</td><td>令和 5 年 2 月 3 日</td><td>場所</td><td>大阪市教育センター</td></tr></table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p> <p>大阪市小学校教育研究会HPでの共有</p>	日程	令和 5 年 2 月 3 日	場所	大阪市教育センター
日程	令和 5 年 2 月 3 日	場所	大阪市教育センター			
8	代表校園長のコメント	大阪市では、特別支援学級に在籍している児童が、通常学級の中で共に学ぶインクルーシブ教育の研究をこれまで進めてきた。通常学級担任と特別支援学級担任とのどのような協同の仕方が、特別支援学級在籍児童が通常学級での授業や学校生活全般に積極的に参加でき理解を深められるのか、また、特別支援学級でのどのような個別指導が児童のより深い学びへつながるのかを研究することは大変重要であり、大きな意義を持つ。 特別支援学級に在籍する児童だけではなく、ほぼすべての通常学級には配慮を要する児童が、日々学校生活を送っている。配慮を要する児童に対する学習指導、学校生活の支援のノウハウは、大阪市立全小学校の切実なニーズである。特別支援教育部におけるこれまでの研究成果をもとに、全ての児童が「共に学び、共に育ち、共に生きる」学校の実現に寄与できる発展的な研究としたい。				

令和4年4月12日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
B グループ研究B
校園コード(代表者校園の市費コード)
541091

代表者 校園名 : 大阪市立四貫島小学校
 校園長名 : 森石 泰生
 電 話 : 06-6468-5451
 事務職員名 : 立石 教子
 申請者 校園名 : 大阪市立桃陽小学校
 職名・名前 : 教諭 山本 秀人
 電 話 : 06-6772-2925

令和4年度 「がんばる先生支援」研究支援 経費執行申請書

◇「がんばる先生支援」として、経費を次のとおり申請します。

研究テーマ	配慮を要する児童のよりよい「今」そして「未来」を目指して		
-------	------------------------------	--	--

費 目	金 額	備 考
8 旅費	5 普通旅費	0
教育センターでの経費執行	計	0 ①
7 報償費	1 報償金	16,200
10 需用費	1 消耗品費	7,000
	4 印刷製本費	198,000
11 役務費	1 通信運搬費	0
	4 手数料	0
	5 筆耕翻訳料	0
12 委託料		0
13 使用料及賃借料	1 使用料	0
17 備品購入費	2 校用器具費	0
	3 図書購入費	0
18 負担金、補助金及交付金	5 会費	0
学校での経費執行	計	221,200 ②
合 計	221,200	①+②

研究活動にあたって、どのような目的で、どのような物品を購入するのか、主なものを記述すること。

【7-1報償金】

講師謝礼2回分

①特別支援教育に関する実践の研究協議会及び②インクルーシブ教育に関する研修会のための研修にかかる講師謝礼1回分

【10-1消耗品費】

研究のまとめとして研究紀要を作成、各校への発送のための封筒500枚とタックシール500枚分

【10-4印刷製本費】

学校生活部会、授業部会の各部が実践事例を持ち寄り、その研究成果をまとめ発信するための冊子900部作成分

内訳明細

(R04 様式 2-2)

研究コース B グループ研究B

代表校園 大阪市立四貫島小学校

代表校校園コード 541091

費目	内 容	数量	単 価	金 額	予定月
8 - 5 普通旅費					
	費 目 小 計			0	
	研修会の講師謝礼 (7,100×2h+2,000)	1	16,200	16,200	
7 - 1 報償金					
	費 目 小 計			16,200	
	封筒(角2・500枚入)	1	5,000	5,000	
10 - 1 消耗品費	タックシール(研究紀要発送用)	2	1,000	2,000	
	費 目 小 計			7,000	
	研究紀要印刷(A4・60ページ)	900	220	198,000	
10 - 4 印刷製本費					
	費 目 小 計			198,000	
	通信運搬費				
11 - 1 通信運搬費					
	費 目 小 計			0	
	手数料				
11 - 4 手数料					
	費 目 小 計			0	
	筆耕翻訳料				
11 - 5 筆耕翻訳料					
	費 目 小 計			0	
	委託料				
12 委託料					
	費 目 小 計			0	
	使用料				
13 - 1 使用料					
	費 目 小 計			0	
	校用器具費				
17 - 2 校用器具費					
	費 目 小 計			0	
	図書購入費				
17 - 3 図書購入費					
	費 目 小 計			0	
	会費				
18 - 5 会費					
	費 目 小 計			0	
	合 計			221,200	

令和 4 年度 「がんばる先生支援」研究支援 名簿

代表者	校園名 : 大阪市立四貫島小学校	校園長名 : 森石 泰生
申請者	校園名 : 大阪市立桃陽小学校	職名・名前 : 教諭 山本 秀人

番号	所 属 校 園 名	職 種	名 前
1	福小学校	校長	渡邊 弘彦
2	大宮西小学校	校長	牧野 文彦
3	四貫島小学校	校長	森石 泰生
4	大空小学校	校長	今中 紗子
5	苗代小学校	教諭	岩谷 晴美
6	みどり小学校	教諭	秋間 良介
7	茨田西小学校	教諭	山林 哲
8	高倉小学校	教諭	勝原 未歩
9	都島小学校	教諭	谷 陽子
10	野中小学校	教諭	佐野 京子
11	小松小学校	教諭	宮本 杉子
12	十三小学校	教諭	矢野 里恵
13	清水小学校	教諭	植松 治美
14	清水小学校	教諭	池田 隆司
15	今津小学校	教諭	谷口 緑
16	常盤小学校	教諭	蘆田 佑加
17	新北島小学校	教諭	山崎 秀幸
18	住之江小学校	教諭	足立 裕充子
19	瓜破小学校	校長	俵 正典
20	開平小学校	校長	岩本 由紀
21	佃西小学校	校長	小西 浩之
22	今福小学校	校長	牛尾 慶一郎
23	すみれ小学校	教諭	石塚 日彩
24	高倉小学校	教諭	文珠四郎 悅子
25	野田小学校	教諭	木下 典子
26	明治小学校	教諭	大西 彬子
27	港晴小学校	教諭	岡崎 広介
28	北恩加島小学校	教諭	紫藤 里香
29	桃陽小学校	教諭	山本 秀人
30	天王寺小学校	教諭	的場 純子

令和 4 年度 「がんばる先生支援」研究支援 名簿

代表者	校園名 : 大阪市立四貫島小学校	校園長名 : 森石 泰生
申請者	校園名 : 大阪市立桃陽小学校	職名・名前 : 教諭 山本 秀人

番号	所 属 校 園 名	職 種	名 前
31	生魂小学校	教諭	和田 久美子
32	川北小学校	教諭	坂本 貴子
33	北中島小学校	教諭	川野 梓
34	住吉小学校	教諭	馬場 政和
35	千本小学校	教諭	田中 博樹
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			